

おやつクラブ



月に1回から2回、数名の利用者さんと職員とで一緒に色々なおやつを作る活動を行っています。施設内で育てた野菜などを使用したり、利用者さんにリクエストを聞いて甘いスイーツを作るなど楽しく行っています。もちろん作ったものは皆で美味しくいただき、たくさん作った時には他の方におすそ分けをしたりと皆さんに喜んでもらえるような活動となっています。今後も感染症予防をしっかりと、楽しく行っていきます。

新入職員紹介

一歩ずつ



就業支援部
豊田伊吹

5月より就業支援部で働かせて頂いています。豊田伊吹です。3月に近畿大学を卒業した社会人1年目です。大学では経営学について学んでいましたが、兄が特別支援学校の教師をしていたこともあり、障害者の方との関わりのお話を聞く上で、福祉の仕事に興味を持ちました。また、学生時代に知人から紹介されたグループホームでのアルバイトをきっかけに、福祉の仕事にやりがいを感じ、障害者の方の手助けができる仕事をしようと決意しました。その中でも特に就業支援について関心がありました。加古川はぐるま福祉会では、グループホームでの経験を少しずつ生かしながら、利用者の方の就労を手助けさせて頂きたいと考えています。

まだまだ作業や利用者の方との関わり方など分からないことも多く、毎日覚えることばかりですが、一日一日を大切に積み重ねていきたいと思っています。至らない点多々あるかと思いますがどうぞよろしくお願致します。

一人一人に寄り添って



生活支援部
米田亜紀子

6月より生活支援部で勤務しています。米田亜紀子です。県立高校の保健室や小学校の支援学級に勤務していました。支援学級での5年間は、様々な生きづらさを持ちながらも何かに挑戦し、できることが一つ増えた時の子どもたちの笑顔にやりがいを感じていました。そのようなやりがいを持ってまた働きたいと思っていたところ、ご縁があり働かせていただけることになりました。

加古川はぐるま福祉会で働いた期間はまだ短く、知識や経験も少ないため不安もたくさんあります。しかし困った時にアドバイザーをくださる頼れる先輩方がいること、わからないことを教えてくださり、できないことがあると応援してくださる利用者の方々がいることを知りました。今、利用者の方々の表情やしぐさが親しみのあるものに変わっていくことが嬉しく、毎日楽しく仕事をさせていただいています。

このように支えてくださる方々への感謝を忘れず、利用者の方々の気持ちに寄り添えるような支援ができるよう頑張ります。どうぞよろしくお願致します。

Step by Step

～一歩一歩～③

就労継続支援事業B型

大西直矢さん



暑い日も寒い日も雨の日も、毎日自転車で通所する元気な26歳。特別支援学校を卒業後、訓練を開始。訓練開始当初はお喋りが多く、ケジメにかけ、しんどくなると休んでしまう。1日3食食べる、入浴、洗濯、歯磨きなど、「働く」、「生活する」ために必要なことや自分ですべきことを一つずつ知ることからのスタートでした。

特に大きな課題は金銭管理。これまで作業工賃は全て使い切っていたため、計画的に使うことや将来の貯蓄について一緒に考え、取り組みを始めました。毎日、決まった金額の中で自分の朝食を買い、残ったお金で好きな物を買ったり決めてからは、自分で稼いだお金を使う満足感、貯まってくること達成を得て、お金を大事に使えるようになった。

よつになりました。長く一緒に取り組む中で、お母さんは「次は自分たちで頑張ってみよう」と言いましたが、本人は「続けたいです、もっとお金を貯めたいです」と答えてくれました。取り組みの目的やその成果、自分でできる、という充実感を感じられていることが、とても嬉しく思いました。

今、段取りがわかって、次々となしていく大西さんの働きはとも頼りになっています。「働く＝しんどい」だけだった本人が、「生活をする＝お金が必要＝働く」と認識が変わり、休むことなく、毎日働くことが当たり前になりました。一緒に決めた生活面の約束事も守りながら、本人らしい暮らしを送っています。

本人になぜ休まなくなったのか尋ねると「お金を稼いでお小遣いや貯金を増やしたいです」ということに加え、「仕事で頼りにされたんです」と、きっぱりと答えてくれました。働く目的や喜びを知ることが、成長に繋がったと感じています。

今後もお母さんと二人、力を合わせて継続することで、さらに「かっこいい働く大人」に成長していく予定です。

(就業支援部 矢野朗守)

生活介護

陰山愛子さん



陰山愛子さんは、平成31年4月から生活介護を利用され、作業やレクリエーション活動を頑張っています。

作業では、果物ネット・シールはがし・フィルムはがしなど、どの作業においても確実に丁寧な仕事が出来ています。レクリエーション活動では編み物に参加し、今はウサギの編みぐるみに挑戦しています。始めた頃は、職員と一緒に確認しながら編んでいましたが、今では自ら編み図を見ながら編み、途中で編み目の数が多いことに気が付くと職員に確認の依頼をする程に成長されています。

今までの作品ではポシエットやベストのセーターなどを編んでおり、編み物が完成する度に達成感や自信に繋がっているように感じています。

家庭では多彩な趣味のひとつとして、太極拳を週一回習っています。三年前のクリスマス会では、みんなの前で披露してくれ大いに盛り上がりました。現在はコロナ禍のため、練習時間が短縮となっているので早く以前のようによくやりたいと願っています。その他に、週一回居宅介護支援(家事援助)を利用し、ヘルパーさんと一緒に料理作りも頑張っています。健康のことでも考え魚料理を中心に、家にある野菜類を見てメニューを決めています。料理は本人一人で行い、ヘルパーさんは洗い物などの補助をしています。煮魚がとっても美味しいと嬉しそうに教えてくれました。

これからも色々なことに挑戦しながら、健康で充実した時間を過ごして欲しいと思っています。

(生活支援部 谷川智計)